

Doc.No : NR031023-1

2003年10月23日

## 新開発の塗布システムを搭載した、第6世代対応TFT液晶用塗布現像装置を発売

大日本スクリーン製造株式会社(本社：京都市上京区)のFPD機器カンパニー(社長：津田 雅也)は、新開発の塗布システムを搭載した第6世代ガラス基板対応のTFT\*液晶用塗布現像装置「SK-1500G」を2004年春から販売します。

この装置は、大型化が進む液晶パネル市場の動向に対応し、第6世代と呼ばれる業界最大サイズ(約1,500×1,800mm)のTFT液晶用ガラス基板への感光液塗布と現像を行うもの。塗布部には、細長い棒状の吐出口を基板上にスライドさせて均一塗布を可能にした新システム、「リニアコータ®」を採用しました。

従来、塗布工程では、ガラス基板を高速で回転させ、その遠心力により均一に感光液を塗布していましたが、この度当社では基板を回転させることなく、感光液の高精度な塗布を実現する同システムを開発。これにより、スピン方式に比べて大幅に感光液を削減できるほか、回転時の駆動電力や騒音なども低減できる環境配慮型の装置となっています。また、ガラスの端面(断面)への液だれが防止できるため、「端面洗浄」工程を省略でき、生産性の向上や洗浄液量の節減が図れるのも特長です。

パソコン、カーナビ、携帯電話、家電機器の表示画面など、さまざまな用途に使用されている液晶ディスプレイは、テレビ全体における液晶テレビの比率が昨年の1%から2005年には10%まで伸びると予想されるなど、さらなる市場拡大が見込まれています。それに伴い、ディスプレイ自体の大型化と1枚の基板から作れるパネル数を増やして生産効率アップを目指すという2つの側面から、ガラス基板サイズの拡大傾向はさらに続くと考えられています。そこで、当社では今後、このSK-1500Gの技術をさらに発展させた第7世代(約1,800×2,000mm)対応の装置を開発、販売する予定です。

なお、この装置は10月29日から31日まで横浜・パシフィコ横浜で開催される展示会「FPD International 2003」で紹介します。

\* TFT : Thin-Film Transistor=薄膜トランジスタ

### < 発売時期 >

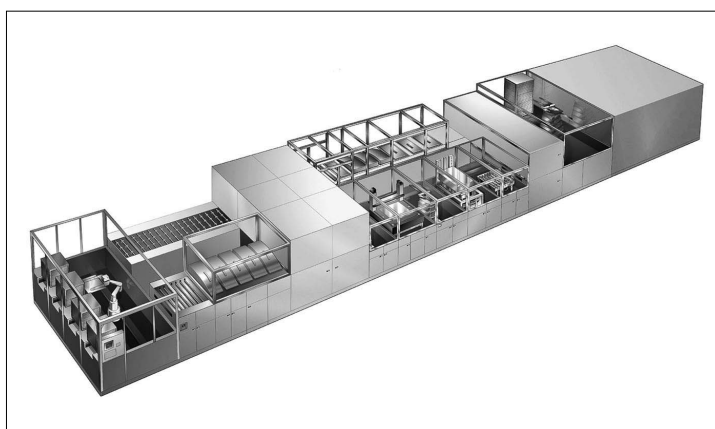
2004年春

### < 年間予定販売台数 >

30台

### < 国内希望販売価格(消費税別) >

10億円(仕様により異なる)



SK-1500G

☆この画像の印刷用データ(解像度300dpi)は、下記URLよりダウンロードできます。  
(<http://www.screen.co.jp/press/nr-photo/>)

●本件についてのお問い合わせ先

大日本スクリーン製造株式会社 本社広報室：Tel 075-414-7131 Fax 075-431-6500 〒602-8585 京都市上京区堀川通寺之内上ル4丁目